

2026年4月20日(M7.7)と2011年3月11日(M7.4)三陸沖の地震に伴う地殻変動の比較

京都大学防災研究所

2026年4月20日の三陸沖の地震(M7.7)では、国土地理院 GEONET などの陸上の GNSS 観測点で東向き地殻変動が観測されているが、2011年3月11日の三陸沖の地震(M7.4)の地震時地殻変動と比較した結果、両者の観測地殻変動はよく似ていることがわかった。これは、両地震のすべり分布が似ていることを示唆する。

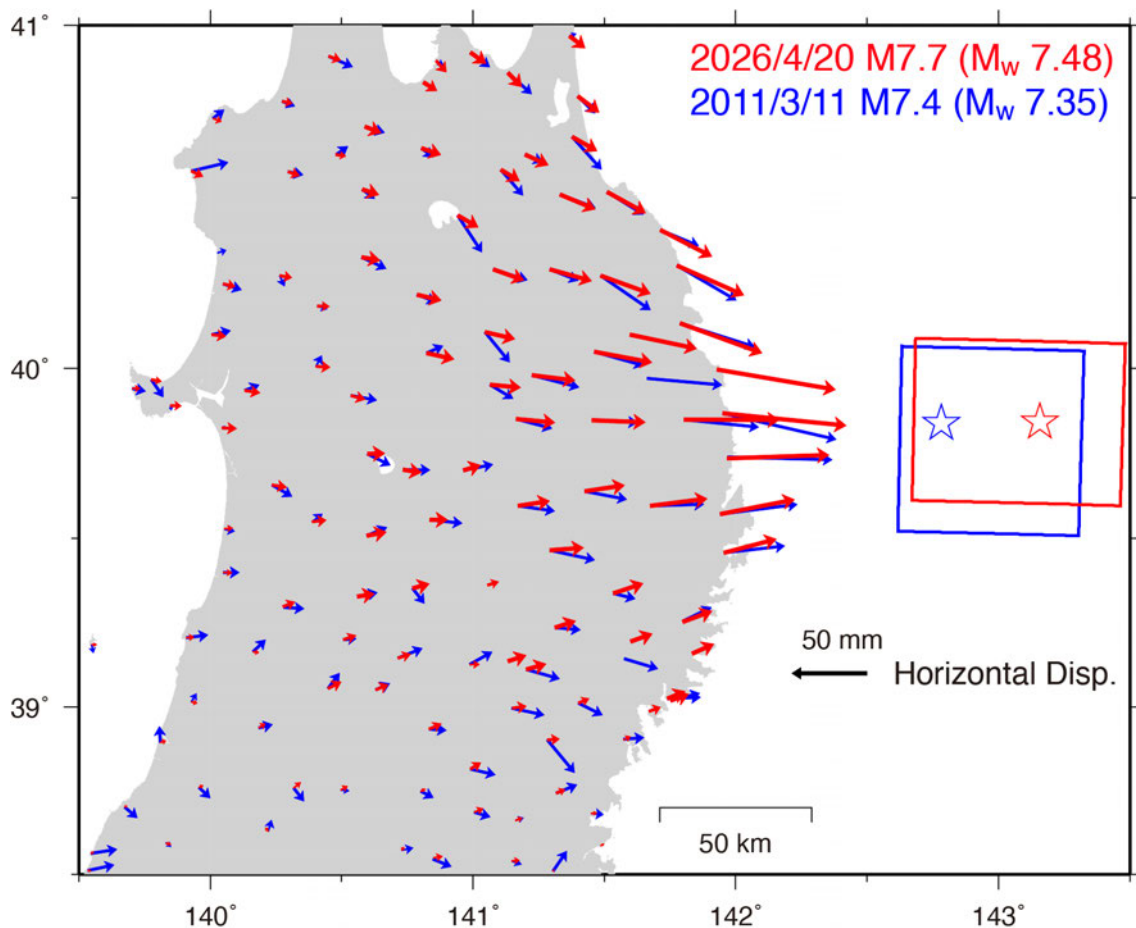


図1 2026年4月20日(赤)と2011年3月11日(青)の三陸沖の地震に伴う地震時地殻変動の比較. 星印と矩形領域は、それぞれ気象庁一元化震源による震央位置と地殻変動から推定した矩形断層モデルを表す. 2026年の地震の変動は、日座標値(2026/4/10-20と2026/4/21)の差から計算し、2011年の地震の変動は、キネマティック解析による地震前後それぞれ5分間の座標平均値の差(Nishimura et al., 2011)に基づく.

京都大学防災研究所